

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2019No.126】(HP 掲載)

分類：SACD/CD

作曲家：ブルッフ他

曲名：ヴァイオリン協奏曲第1番他

演奏：アラベラ・美歩・シュタインバッハー／ローレンス・フォスター指揮リスボン・グルベンキアン管弦楽団

発売：Penatone

No. : PTC 5186503

概要：

[デンマーク国立交響楽団の演奏会](#)に行き買い求めたもので、オーケストラは違いますが、演奏されたシュタインバッハーのブルッフのヴァイオリン協奏曲が収録されています。



収録曲：

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 Op.26

コルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.35

ショーソン：詩曲 Op.25 録音時期：2012年7月

録音場所：

リスボン、カルースト・グルベンキアン財団大講堂

録音方式：

ステレオ (DSD/セッション)

奇しくも前報 No.125 と同様、Penatone レーベルの CD となりましたが、前報同様、ブルッフのヴァイオリン協奏曲第 1 番では、楽器の質感が自然で、シュタインバッハーの弾く、1716 年製ストラディヴァリウス「Booth」の音色が、演奏会の印象を再現してくれています。

コルンゴルトのヴァイオリン協奏曲ニ長調では、多彩な音の変化があり、ショーソンの詩曲 Op.25 では、文字通り詩情あふれる曲ですが、シュタインバッハーのテクニックが冴えており、ストラディヴァリウス「Booth」の清冽な音色が楽しめます。

以上